

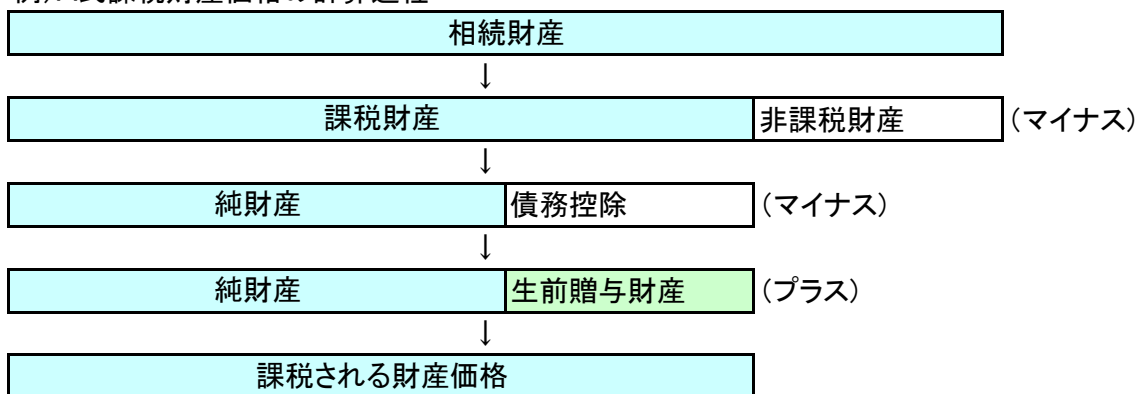
図解 相続税の計算

相続税の計算は、結構複雑です。
 なので、簡単に図解にしてみました。 参考にしてください。

1.1 人ごとと取得相続財産を計算

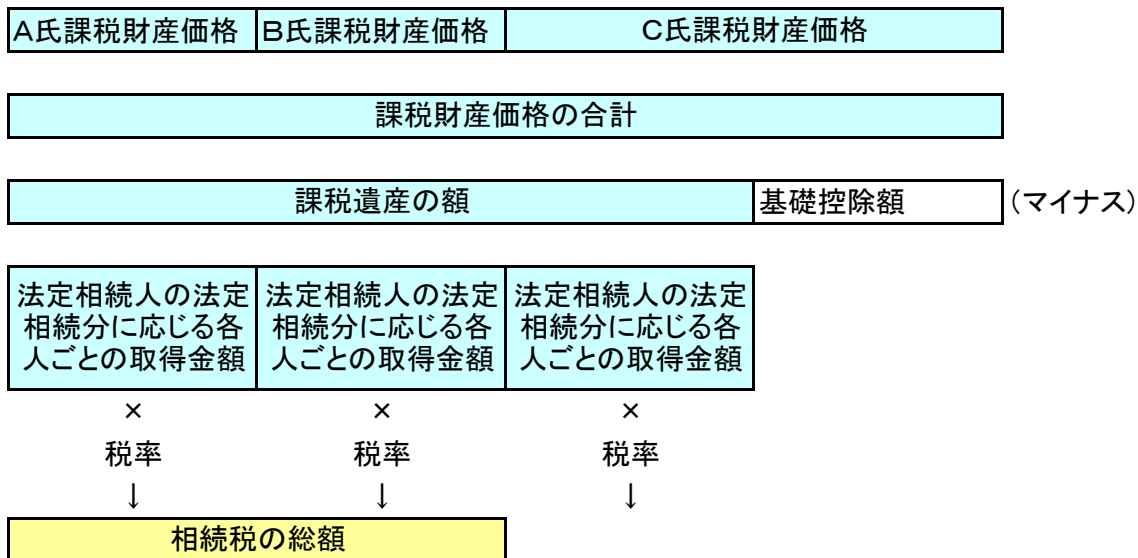
- ①まず、相続人一人ごとに、誰がいくら of 財産をもらい、その中の非課税財産を控除します。
- ②次に、その人が負担した借金や葬式費用を控除します。
- ③被相続人から生前にもらった財産を、プラスします。
- ④これで、税金計算の基礎となる金額が出ます。

例) A氏課税財産価格の計算過程



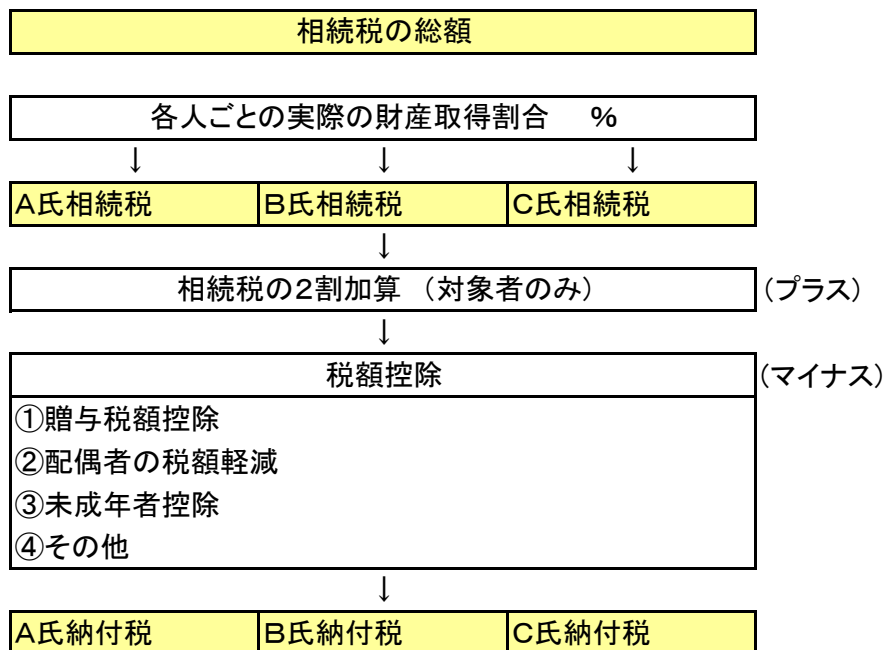
2. 全体の相続税計算

- ①各人の税金の基礎となる金額を合計します。
- ②次に基礎控除額を控除します。
 $5,000万円 + 1,000万円 \times \text{相続人の数} = (\text{基礎控除額})$
- ③基礎控除後の遺産を、法定相続人がその法定相続分で取得したと仮定した金額を計算
- ④次に各取得金額に税率をかけた金額を合計します。
- ⑤この合計額が、相続税の総額となります。



3.各人ごとの相続税納付税額

- ①相続税の総額を、各人の実際取得割合で配分します。
- ②その配分された相続税に、2割加算・税額控除等を加味して
- ③最終的に収める相続税を計算します。



お疲れ様でした。

計算方法を理解するのも大変です。

やはり、この辺はプロの税理士さんをお願いした方が、無難ですね。